



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2021年
9月6日
発行

第102回

「今後の政治展望」

～新総裁で日経平均は3万円超え～

初めに

自民党総裁選は菅総裁の続投で決まりと見られていましたが、菅氏の予想外の出馬見送りで状況は混沌としてきました。一方この出馬見送りを受け日本株は上昇しています。ここまで菅首相を支持してきた当レポートとしては残念なところもありますが、今回はこれまでの菅政権を振り返ったうえで今後の政治や株式市場について考えます。

実績を残した菅政権

まず菅政権の実績を見てみます。自分は一年という短い期間にも拘わらず菅政権はいくつもの実績を残したと思います。例えば温暖化対策です。CO2削減に向けた計画を策定しカーボン・ニュートラルのための道筋を付けました。デジタル庁の設立・携帯電話料金の引き下げ・不妊治療に対する助成金、などもあります。海外関係では米国のバイデン大統領と個人的にも良好な関係を築き、日米同盟を一段と強固なものにして中国を牽制しています。一年という期間でこれだけの事を成し遂げた菅内閣について自分はよくやったと思っています。

評価できるコロナ対策

批判されているコロナ対策についても自分は評価しています。当初はワクチン接種などが後手に回りましたが、首相自ら製薬会社に掛け合いワクチンを確保するという奇策に出たのは菅首相ならではでしょう。その後もワクチン担当相に突破力のある河野氏を起用し接種の拡大に努めた結果、最近では今後どのようにしてコロナ関係の規制を解除していくかという議論を政府内で行える状況になっています。こうした点から見て菅政権のコロナ対策は、初期の段階を除けば言われているほど悪いものではなかったと考えています。

総裁選の見通し

ここからは自民党総裁選についてコメントします。まだ候補者も出揃っていない状況ですが、自分が総裁にふさわしいと思うのは河野ワクチン担当相です。自分が河野氏を押す理由は二つあります。アイデアマンであること、突破力があること、などです。これは以前河野氏の講演会で聞いたことですが、河野氏が社長を務める湘南ベルマーレの財務強化のためタイのタクシン元首相に資金を出資してもらおうとしたことがあったそうです。結局この企画は実現しなかったそうですが、河野氏はアイデアマンだなあと感心しました。また安倍政権の時の話ですが、地方創生の一環として各省庁毎に一つ東京にある拠点を地方に移転するという指示が出たところ、結局それに応じたのは河野氏が大臣を務める消費者庁ともう一つ別の省庁だけだったそうです。それだけ官僚の抵抗が強かったということでしょうが、河野氏の突破力を示すエピソードだと思っています。こうした点が自分が河野氏を新総裁に押す理由です。

(裏面へ続く)

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。

株式市場への影響

最後にこの総裁選の株式市場への影響についてコメントします。菅首相の不出馬表明を受けて株式市場は急上昇しました。これは人気の低い菅首相の不出馬は日本株にプラスと投資家を感じたためです。この株高の持続性については自民党の支持率がポイントと見ています。新内閣の支持率が上がれば株価は上昇、企業業績が好調を続けていることもあり日経平均3万円の可能性もあるとの見方です。

(この文章には特定の政治家に関するコメントがありますがこれは筆者自身の意見であり西村証券の意見ではありません。)